I C A N N 報 告 会 - 次回新gTLD申請募集-

2022/04/26

アジェンダ

- □ 概要
- □ 2ndラウンド開催に向けた現状のご紹介
- □ Web3.0におけるドメイン管理の課題について

概要

ICANNMTGサマリ:

第73回ICANNは、2022年3月7日~10日まで、バーチャル開催がされました。前回までは、ODPは12の視点を提示するにとどまっていましたが、具体的なステップが提示され、2ndラウンド開催に向けた進捗が一程度あったと言えます。

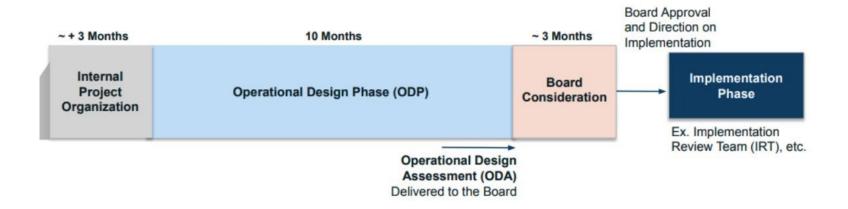
また、今回のICANNMTGでは、加熱するWeb3.0、いわゆる分散型管理システムに対し、ICANNの立場を今後どのようにしていくべきなのかなど、活発な議論がされることとなりました。

Web3.0の出現により2ndラウンド開催がどのように影響を受けるかは定かではありませんが、既存のTLDの価値が相対的に今後下がるのか、高まるのかで、2ndラウンドの成否は決定しそうです。

□ ODPの前回までの報告の振り返り

ODPとは、新gTLDの申請募集を行う前に、申請ガイドブックが正しく機能 するかを確認するフェーズです。

12の視点から評価がされ、プラニングとレビューで約16か月を要するとの発表をしていました。(開始想定は、2022年1月)



ODPの今回の進捗について

ICANNは、具体的に9つの ワークトラックに分け、作業を 進めていくことになりました。

1:プロジェクト管理

2:ポリシー開発とその資源

3:業務準備

4:システムとツールの準備

5:ベンダー管理

6:広報活動

7:リソースと支出予算の管理

8:申請費用等の財務検討

9:その他検討課題

SubPro Work Tracks and Topics

Work Track 1 **Project** Governance

Overall Governance

- Project Management
- Reporting
- · SteerCo Support
- · Board Caucus Support
- ODP
- · Planning Assumptions
- · Continuing SubPro (1)
- · Program Success Metrics
- Risk Mitigation

Work Track 2 Policy Dev & Impl. Materials

Policy Support Policy Implementation

- · Predictability (2) TLD types (4)
- RSP Pre-Eval (6)
- · Metrics/Monitoring (7)
- COIs (8)
- PIC/RVCs (9)
- · Applicant Freedom of Expression (10)
- UA (11)
- · App. Guidebook (12)
- · Terms & Conditions(18) · Change Requests (20)

· Reserved Names (21) · Registrant Protections

(22)

- · Closed Generics (23) String Similarity (24)
- · Applicant Reviews (27)
- · App Comments (28)
- · GAC Advice/EW (30)
- Objections (31)
- · Appeals Mech. (32)
- · Dispute Resolution (33)
- · Community Apps (34) Auctions (35)
- Registrar
- Non-Discrimination (37)
- · Registrar Support for New gTLDs (38)
- Ry System Testing (39)
- Compliance (41)

Work Track 3 Operational Readiness

Functional Capacity Building

- · Preparation of day-today procedures
- · Re-engineering existing operations to manage more parties
- · Training of ops staff
- · Apps Assessed in Rounds (3)
- · Application Queuing
- TLD Rollout (40)

Updated: 2 March 2022 Work Track 4

Systems and Tools

System Strategy and Planning

- · System Development and Maintenance
- · Applicant Comments
- · Application Submission Limits (5)
- Systems (14)

Work Track 5

Vendors

Vendor Strategy and

- Procurement (RFI & RFP processes)

Planning

- Vendor Management
- · Contract Management

Work Track 6 Comms and Outreach

Comms Strategy and Planning

- Awareness Campaigns
- · Define Audience · Website page
- Narrative
- Communications (13)
- Application Submission Period (16)

Work Track 7 Resources, Staffing & Logistics

Resourcing Strategy and Planning

- · Cost and time estimates · Recruitment of new staff
- and backfill
- Training
- Planning and obtaining resources needed to support staff

Work Track 8

Finance

Financial Strategy and Planning Management of program financial resources

- Cost model
- · Application Fees (15)
- Refunds
- · Request for initial funding

Work Track 9

Overarching

Issues that impact SubPro but are not part of the Final Report or simultaneously cross multiple worktracks

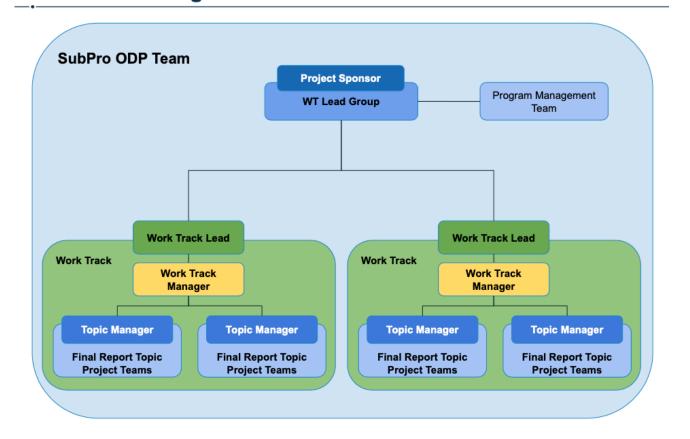
- Applicant Support (17)
- · IDN tables (LGR) (25) · Security and Stability
- · Name Collision (NCAP)
- New Base RA (36)
- · Global Public Interest Framework



□ ODPの今回の進捗について

組織体制

SubPro ODP Organization of Work

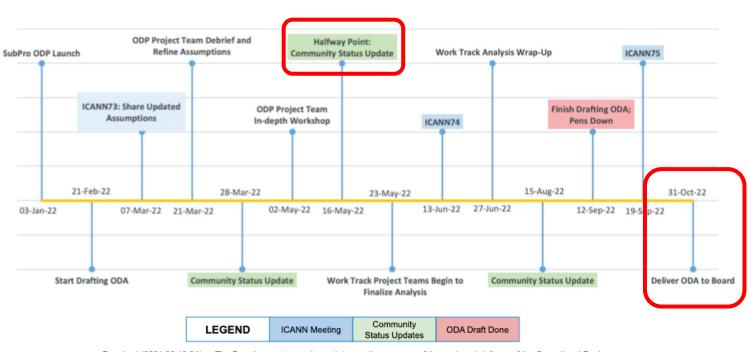


□ ODPの今回の進捗について

今後の進捗は右の通りです。2022年10月には、 ODPが終了し、報告書 (ODA) が提出される 予定です。

なお、ICANNでは、セキュリティと安全を重視し、ルートゾーンへの新しいgTLDの追加は、1か月で5%増上限とすることと考えているようです。

High-Level Timeline



Resolved (2021.09.12.01), ... The Board requests regular updates on the progress of the work and delivery of the Operational Design Assessment (ODA), the expected output of the ODP, within ten months from the date of initiation, provided that there are no unforeseen matters that could affect the timeline, of which any such matters are to be communicated to the Board immediately upon identification.

Ongoing Activities:

Work Track + Project Team Analysis, Meeting with liaison, Monthly status report, Legal Review, Comms.



□ ICANNで話題にあがった分散型管理体制

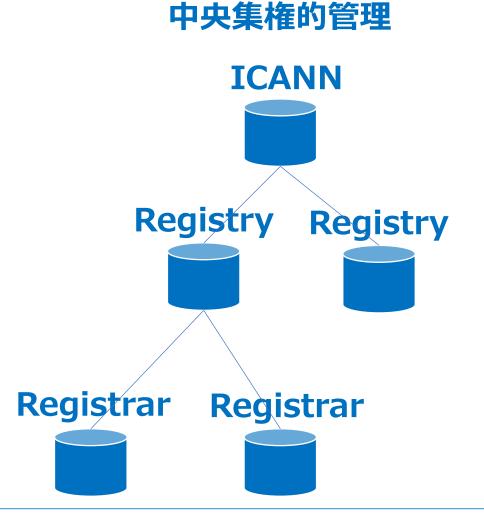
.eth .x .crypto .nft など、ICANNのシステムを通さないドメインネーム (NFTドメイン) が最近脚光を浴びています。これらのドメインネームの使い道は、現在メインとして、暗号資産の取引を行うためのウォレットのトークンを短くわかりやすく表現するものとして活用がされています。

0x495f947276749Ce646f68AC8c248420045cxxxxx = **sample.nft**

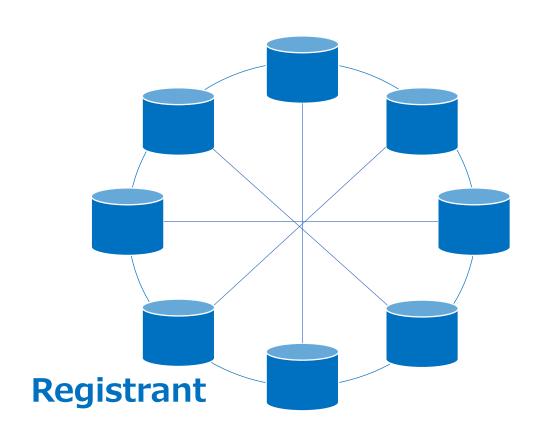
したがって、現時点で従来型のドメインネームとは異なる位置づけとなります。

ただ、.x .cryptoなどを発行するUnstoppable Domainsなどでは、ウェブへもアクセスができるような仕様を組むなど、その機能を拡張していきているため、従来型のドメインネームとの抵触・住み分けの議論が加速する可能性は秘めています。

□ 中央集権的管理と分散型管理について



分散型管理(Web3.0)



- □ NFTドメインの主な特徴
 - □ 更新が存在しない 従来のドメインは、レジストリからレンタルをしている状態ですが、 NFTドメインは完全な所有となります。
 - □ 分散型管理 中央集権的な管理ではなく、レジストリやレジストラは存在しません。 whois情報もない
 - □ セキュアな管理 NFTドメインは、パブリックブロックチェーン上にあり、他者にハイジャック・盗難をされるなどのリスクを非常に低く抑えることができます。

□ NFTドメインの今後の広がり

ブラウザの対応が普及への鍵となりそうですが、NFTドメインの利用が拡大していった場合に、ICANNが扱うTLDとの競合が発生してきます。

どのようにその競合状況を整理していくかは、大きな課題となりそうです。

ICANNは、インターネットが開始されてから中央集権的に情報を管理することで安定的に安全に環境を守ってきました。

Web3.0という新しい流れの中で、目的を失うことなく、うまく共存ができる方向性で技術の融合と進化がなされることを期待したいところです。

GMOBrightsConsulting

メール: consul@brights.jp

TEL: 03-5784-1069

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録 商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。